

平成26年度事業報告

平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事業概要は次のとおりである。

〔1〕会 員

平成26年度末の会員数は次のとおりである。

区 分	会 員 数	備 考
個 人 正 会 員	1965 名	うち海外在住外国人正会員 47 名
団 体 正 会 員 (公 益)	73 口	
団 体 正 会 員 (賛 助)	58 口	
学 生 会 員	495 名	
名 誉 会 員	17 名	うち外国 1 名
合 計	2608 名	

〔2〕運営に関する会議

1. 通常総会の開催

第34回通常総会を次のとおり開催した。

- (1) 日 時 平成26年6月10日(火) 13時00分～13時35分
- (2) 場 所 タワーホール船堀(東京都江戸川区)
- (3) 出席者 1,080名
- (4) 議 題
 - 1) 平成25年度決算(案)について

報告 平成25年度事業報告

2. 理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

(1) 第102回理事会

- 1) 日 時 平成26年5月22日(木) 17時00分～19時10分
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) 出席者 迫田会長他理事12名、監事2名、幹事1名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 各賞表彰(学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞、技術賞)について
 - イ. 平成25年度事業報告および決算報告(案)について
 - ウ. 総会開催案内・委任状について
 - エ. 新入会員の理事会承認について
 - オ. 九州支部の改称について

- カ. 研究委員会の継続申請について
- キ. 水 ing 賞の名称と位置づけ
- ク. 技術奨励賞の導入について
- ケ. 各担当理事報告
- コ. その他

(2) 第 103 回理事会

- 1) 日 時 平成 26 年 9 月 8 日 (月) 12 時 30 分～13 時 22 分
- 2) 場 所 滋賀県立大学 A4 棟 301 教室 (滋賀県彦根市)
- 3) 出席者 迫田会長他理事 13 名、監事 2 名、幹事 8 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 運営幹事の承認について
 - イ. 京都会議記念基金・派遣助成制度助成対象者の選考について
 - ウ. 新入会員の承認について
 - エ. 水環境学会誌 1 2 月号の表示販売価格の変更
 - オ. 水環境学会誌著者請求額のカラーページ料金算定式の変更について
 - カ. 国際連携会員について
 - キ. 平成 25 年年間優秀論文賞 (メタウォーター賞) の選考結果報告
 - ク. 各委員会委員の選任について
 - ケ. 平成 26 年度予算執行状況報告
 - コ. 会員増強策の推進
 - サ. 各委員会報告
 - シ. その他

(3) 第 104 回理事会

- 1) 日 時 平成 27 年 3 月 17 日 (火) 12 時 20 分～13 時 32 分
- 2) 場 所 金沢大学角間キャンパス図書館棟 G1 階 G15 会議室 (金沢市)
- 3) 出席者 迫田会長他理事 19 名、監事 2 名、幹事 10 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 平成 27 年度事業計画 (案) について
 - イ. 平成 27 年度予算 (案) について
 - ウ. 資金調達及び設備投資の見込みについて
 - エ. 理事および監事候補者の承認について
 - オ. 機関誌編集発行業務の見直しについて
 - カ. 新入会員の承認について
 - キ. 日本水環境学会細則改定について
 - ク. 表彰基金運用規程改定について
 - ケ. 研究委員会の新設について
 - コ. 平成 26 年度水環境文化賞選考結果の報告
 - サ. 年会優秀発表賞 (クリタ賞) および年会学生ポスター発表賞 (ライオン賞) の選考経緯に関

する報告

- シ. 各運営理事報告
- ス. その他

〔3〕 運営方法および財政改善に関する検討

健全な運営のための業務改革と財政改善を積極的に推進した。

〔4〕 年会

第49回日本水環境学会年会を次のとおり開催した。

1. 開催日 平成27年3月16日(月)～18日(水)
2. 場 所 金沢大学角間キャンパス (金沢市)
3. 参加者 1383名
4. 一般発表:発表件数 717件(口頭502件+ポスター215件)の他、特別シンポジウム、企業展示、各賞の発表と表彰が行われた。

〔5〕 シンポジウム

第17回日本水環境学会シンポジウムを次のとおり開催した。

1. 開催日 平成26年9月8日(月)～9日(火)、10日は現地見学会
2. 場 所 滋賀県立大学(滋賀県彦根市)
3. 参加者 428名
4. 17の研究委員会と本部企画、支部企画によるセッションの他、企業展示、特別講演会、各賞の発表と表彰が行われた。

〔6〕 国際会議

1. **Water and Environment Technology Conference 2014 (WET2014)**を開催した。
(一部は、水ing株式会社からの出捐事業であった。)
開催日 平成26年6月28日(土)～29日(日)
場 所 早稲田大学先端生命医科学センター(東京都新宿区)
2. 大韓環境工学会との共催で第23回日韓水環境シンポジウムを開催した。
開催日 平成26年7月17日(木)～19日(土)
場 所 静岡県立大学谷田キャンパス(静岡市駿河区)
3. 日越シンポジウムを開催した。
開催日 平成26年6月2日(月)
場 所 メリアハノイホテル(ベトナム・ハノイ市)、Yen So 下水処理場(見学)

〔7〕 機関誌

1. 機関誌「水環境学会誌」を毎月発行し、会員に配布した。
2. 機関誌“Journal of Water and Environment Technology”を発行し、科学技術振興機構(JST)が運営するJ-STAGE上で公開した。

3. 機関誌「水環境学会誌」原著論文およびバックナンバーを科学技術振興機構（JST）が運営する J-STAGE 上で公開した。
4. 「水環境学会誌」およびその前身の「水質汚濁研究」の Vol.1～Vol.30 の PDF 版を収めた DVD-ROM を販売した。

〔8〕 IWA 活動への協力

1. IWA およびその国内委員会の活動に参加し、IWA 活動を支援・推進した。
2. IWA 発行機関誌などの編集に協力した。

〔9〕 出版企画

“Water Pollution Control Policy and Management: The Japanese Experience”改訂版の編集を行った。

〔10〕 支部活動

7 支部がそれぞれ総会、講演会、セミナー等を実施した。

〔11〕 研究委員会活動

19 研究委員会（嫌気性微生物処理、MS 技術、生物膜法、身近な生活環境、ポピュレーションダイナミクス、バイオアッセイによる安全性評価、土壌地下水汚染、水環境と洗剤、水環境保全の国際協力、水中の健康関連微生物、湿地・沿岸域、ノンポイント汚染、水環境教育(WEE21)、膜を利用した水処理技術、紫外線を利用した水処理技術、産業排水の処理・回収技術、システム解析、電気化学的技術、熱帯・亜熱帯地域水環境）が、それぞれシンポジウムでセッションを企画するなどの活動を行った。

〔12〕 表 彰

平成 26 年度の学術賞、論文賞、論文奨励賞（廣瀬賞）、技術賞、技術奨励賞、水環境文化賞および会長特別賞の受賞者を選考の結果、次の各氏・団体に決定した（敬称略）。また、年会優秀発表賞、年会学生ポスター発表賞、博士研究奨励賞、水環境国際招聘賞、水環境国際活動賞、年間優秀論文賞および WET 優秀賞を選考し、次の各氏に授賞した（敬称略・50 音順）。

(1) 学術賞

受賞者	ふなみず 船水 <small>なおよき</small> 尚行（北海道大学大学院工学研究院・教授）
対象研究	排水分離分散型処理システムに関する要素技術の開発と実証

(2) 論文賞

受賞者	さとう ひろやす 佐藤 弘泰（東京大学大学院新領域創成科学研究科・准教授）
主要対象論文	Analysis of Bacterial Communities in Treated Water and Activated Sludge and Evaluation of an Easy Methodology for preparing PCR-Compatible DNA Extracts
掲載誌	<i>Journal of Water and Environment Technology</i> , Vol.12, No.1, 1-12 (2014)

(3) 論文奨励賞 (廣瀬賞)

受賞者 しらすき のぶたか
白崎 伸隆 (北海道大学大学院工学研究院・助教)

対象論文 Improved virus removal by high-basicity polyaluminum coagulants compared to commercially available aluminum-based coagulants

掲載誌 *Water Research*, Vol. 48, 375-386 (2014)

受賞者 やまむら ひろし
山村 寛 (中央大学理工学部・准教授)

対象論文 Hydrophilic fraction of natural organic matter causing irreversible fouling of microfiltration and ultrafiltration membranes

掲載誌 *Water Research*, Vol. 54, 123-136 (2014)

(4) 技術賞

受賞者

株式会社日立製作所 いさか かずいち
井坂 和一
きむら ゆうや
木村 裕哉
の と かずひこ
能登 一彦
まつうら まさゆき
松浦 雅幸

対象技術 包括固定化技術を用いたアナモックス反応による窒素処理技術

(5) 技術奨励賞

受賞者

むらた なおき
村田 直樹 (メタウォーター株式会社)

あおき のぶひろ
青木 伸浩 (メタウォーター株式会社)

り ふうせん
李 富生 (岐阜大学 流域圏科学研究センター)

対象技術 浄水セラミック膜ろ過システムを用いた藻類障害対策技術の開発

受賞者

東レ株式会社 たかばたけひろお
高畠 寛生
すがわら ゆういち
菅原 祐一

株式会社日立製作所 の と かずひこ
能登 一彦
せきね やすのり
関根 康記

水道機工株式会社 なかむら やすお
中村 靖男
あめみや じゅんじ
雨宮 潤治

対象技術 海淡・下水再利用統合システムの開発

(6) 水環境文化賞

1) 水環境文化賞

受賞者 特定非営利活動法人 ^{やなむねがわ}家棟川流域観光船（滋賀県野洲市）
対象活動 家棟川流域を中心とした水環境保全および水と生物の総合調査活動

受賞者 ^{ほそごえ}細越ホテルの里の会（青森県青森市）
対象活動 ホテル生息地域の水環境の保全および環境学習支援活動

2) 水環境文化賞「児童・生徒の部（みじん子賞）」

受賞者 金沢市立^{たがみ}田上小学校（石川県金沢市）
対象活動 キタダンの里山親水空間の保全および水生生物の調査・保護活動

(7) 会長特別賞

いであ株式会社
公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団

(8) 年会優秀発表賞

^{いはら ひでゆき}猪原 英之（東京農工大学）
^{うめもと まゆ}梅本 麻由（東京大学）
^{おかもと あきら}岡本 暁（東京大学）
^{かなざわ すい}金澤 推（金沢大学）
^{きむら りょうた}木村 亮太（京都大学）
^{くにもと けいた}國本 啓太（京都大学）
^{さかもと あすか}坂本 明日香（北海道大学）
^{しばた ともよ}柴田 智世（東京大学）
^{しむら ふみ}志村 芙美（東京農工大学）
^{すえなが としかず}末永 俊和（東京農工大学）
^{ちば たかゆき}千葉 高之（東北大学）

Tran Thi Thanh Thuy（長岡技術科学大学）

^{つつみ えな}堤 絵菜（東京大学）
^{なかたに よしあき}仲谷 良晃（大阪大学）
^{もとやま あゆり}本山 亜友里（岐阜大学）
^{やまぐち だいき}山口 大輝（北海道大学）
^{やまだ けんた}山田 健太（北海道大学）

（クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の17名に「年会優秀発表賞」を授与した。）

(9) 年会学生ポスター発表賞 (◎：最優秀賞)

いけだ だいすけ
池田 大輔 (東京農工大学)

こばやし まゆみ
小林 真弓 (北海道大学)

しらさか ゆうや
白坂 勇也 (京都大学)

なかじま みさき
中島 美咲 (東京大学)

なかもと かずき
仲本 一喜 (琉球大学)

はしもと あずさ
橋本 梓 (筑波大学)

◎はしもと ふみ
◎橋本 扶美 (鹿児島大学)

はすみ しゅうへい
蓮見 修平 (山梨大学)

みすみ きょうへい
三角 恭平 (東京大学)

やまと めい
山戸 芽依 (大阪大学)

やまなしゆう
山梨 由布 (群馬大学)

(ライオン株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の11名に「年会学生ポスター発表賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(10) 博士研究奨励賞 (◎：最優秀賞)

はなもと せいや
花本 征也 (京都大学)

◎はふか あきら
◎羽深 昭 (中央大学)

(オルガノ株式会社からの出捐顕彰事業として、第17回シンポジウムで発表した上記2名に「博士研究奨励賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(11) 水環境国際招聘賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award)

Sae-Eun Oh (韓国) (Hanbat National University)

Guangxue Wu (吴光学) (中国) (Tsinghua University)

Chavalit Ratanatamskul (タイ) (Chulalongkorn University)

Tran Thi Viet Nga (ベトナム) (National University of Civil Engineering)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、第49回年会で研究発表を行った4名の海外在住外国人会員に対し、「水環境国際招聘賞」を授与し来日費用等を助成した。)

(12) 水環境国際活動賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Activity Award)

いまい つよし
今井 剛 (山口大学・教授)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、「The 6th International Conference on Fermentation Technology for Value Added Agricultural Products (The 6th FerVAAP Conference)」に対し、「水環境国際活動賞」を授与しその費用の一部を助成することを決定した。)

(13) 年間優秀論文賞

受賞者 さわだ かずこ いのうえ だいすけ せい かずなり いけ みちひこ
澤田 和子*, 井上 大介*, 清 和成*, 池 道彦**

*北里大学医療衛生学部、**大阪大学大学院工学研究科

対象論文 都市下水処理場におけるレチノイン酸類および4-oxo-レチノイン酸類の挙動の解析
掲載誌 水環境学会誌, Vol.36, No.2, 57-65 (2013)

受賞者 てらだ あきひこ つねだ さとし
寺田 昭彦*, 常田 聡**

*東京農工大学大学院工学研究院、**早稲田大学先進理工学部

対象論文 Applicability of a sequencing batch membrane biofilm reactor for simultaneous
nitrogen and phosphorus removal from low C/N ratio wastewater
掲載誌 *Journal of Water and Environment Technology*, Vol.11, No.6, 487-496 (2013)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の論文の著者に「年間優秀論文賞」
を授与し、第17回シンポジウムで発表するための旅費等を助成した。)

(14) WET 優秀賞

WET Excellent Research Award (WET 優秀研究賞)

Mechanistic consideration of fluoride removal using aluminum sulfate

Shinya HAMAMOTO*, Naoyuki KISHIMOTO*, Masaya UEKI**

* Ryukoku University, **Shimadzu System Solutions Co., Ltd.

Assessment of phosphorus buffering capacity of drainage canal sediments in paddy-field Districts

Takehide HAMA*, Daichi IWASAKI**, Chinami JIKUMARU*, Yasunori KAWAGOSHI*,

Tomohisa NAGAI***

* Kumamoto University, ** Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, *** Kyoto University

High-rate moving-bed anaerobic digestion for the waste activated sludge treatment

NGO Van Anh*, VUONG Thi Huyen*, LE Van Chieu**, Rajeev GOEL***, Mitsuharu

TERASHIMA*, Hidenari YASUI*

*The University of Kitakyushu, ** Vietnam National University, ***Hydromantis

Environmental Software Solutions Inc.,

Inactivation of viruses by combination processes of UV and chlorine

Surapong RATTANAKUL*, Kumiko OGUMA*, Hiroshi SAKAI* and Satoshi TAKIZAWA*

* The University of Tokyo

Detection of Japanese PRTR chemicals in a river affected by effluent from industrial and sewage
facilities

Saori MIHO*, Takashi KAMEYA*, Takeshi KOBAYASHI*, Koichi FUJIE*

* Yokohama National University

Does a decrease in chlorophyll-a concentration in Lake Biwa mean a decrease in primary productivity by phytoplankton?

Naoyuki KISHIMOTO*, Chihiro YAMAMOTO*, Kei SUZUKI**, Satoshi ICHISE***

* Ryukoku University, **College of Analytical Chemistry, ***Lake Biwa Environmental Research Institute,

Sediment-associated radiocesium originated from Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant flowing from Ohori river to Lake Teganuma

Yukio KOIBUCHI*, Michio Murakami*, Keisuke Sueki**, Yuichi ONDA**

* The University of Tokyo, ** University of Tsukuba

Simultaneous removal of ammonium and nitrate by a combination of ANAMMOX and hydrogenotrophic denitrification

Tatsuru KAMEI*, Dai NAITOU*, Willawan KHANITHAIDECHA**, Futaba KAZAMA*

* University of Yamanashi, ** Naresuan University, Thailand,

WET Excellent Presentation Award (WET 優秀発表賞)

Adilla Abbas (Bandung Institute of Technology, Indonesia.)

Zhixing Xiao (Nagoya University)

Riyanto Haribowo (Yamaguchi University)

Qian Li (Tohoku University)

Fumihiko Takeda (Public Works Research Institute)

Shota Hirayama (University of Miyazaki)

Kouki Niina (University of Miyazaki)

Neelima Afroz Molla (Thammasat University, Thailand)

Mizuho Uno (University of Miyazaki,)

Andri Rachmadi (The University of Arizona, Tucson, Arizona, USA)

Hiroyuki Yoshino (Tokyo University of Agriculture and Technology)

Fumi Shimura (Tokyo University of Agriculture and Technology,)

Narapong Hongprasith (Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand)

Suthida Theeparaksapan (University of Tokyo,)

Yudha Nugraha (Gunma University)

Kerry Cabral (Tokyo Institute of Technology)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、WET2014の参加者のうち、上記8件の研究の著者に「WET Excellent Research Award」を、16名の発表者に「WET Excellent Presentation Award」を授与した。)

〔13〕 国際活動

国際会議の開催、国際活動への助成、外国人研究者の招聘、IWA 活動への協力などを行った。

また、国際会議参加援助として、京都会議記念基金を基に、増田 周平^{ますだ しゅうへい} 氏（秋田工業高等専門学校）
及び新田見 匡^{にったみ ただし} 氏（横浜国立大学）に対して平成 26 年 9 月 21 日～26 日にリスボン（ポルトガル）で
開催された The IWA World Water Congress & Exhibition 2014 Lisbon 参加のための渡航費用等を助
成した。

〔14〕 事業活動

1. セミナー等の開催

セミナー等を次のとおり開催した。

(1) 独立行政法人日本学術振興会交付、平成 26 年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)『研究成
果公開促進費「研究成果公開発表(B)」』の助成による

第 23 回市民セミナー

- 1) テーマ 黄砂と共に飛来する越境化学物質-水環境と健康に対する影響を考える-
- 2) 開催日 平成 26 年 8 月 8 日(金)
- 3) 場 所 東京会場：地球環境カレッジホール（東京都世田谷区）
大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール（大阪市住之江区）
- 4) 参加者 東京会場 82 名、大阪会場 56 名

(2) 第 60 回セミナー

- 1) テーマ 水質環境基準を取り巻く最新の動向
- 2) 開催日 平成 27 年 1 月 30 日(金)
- 3) 場 所 自動車会館大ホール（東京都千代田区）
- 4) 参加者 118 名

(3) MS 分析技術基礎講習会～今さら聞けない基礎知識講習会～

- 1) 開催日 平成 26 年 5 月 23 日（金）
- 2) 場 所 早稲田大学西早稲田キャンパス（東京都新宿区）
- 3) 参加者 180 名

2. 見学会の実施

第 28 回見学会を次のとおり実施した。

- 1) 開催日 平成 26 年 10 月 17 日(金)
- 2) 場 所 有明水再生センター（東京都江東区）
中央防波堤外側埋立処分場浸出水処理設備および埋立施設（東京都江東区）
- 3) 参加者 23 名

3. 水環境懇話会の開催

水環境懇話会を次のとおり開催した。

(1) 第 35 回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成 26 年 4 月 16 日(水)
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)

- 3) テーマ 大規模災害に備える～東日本大震災の経験を踏まえて～
- 4) 参加者 23名

(2) 第36回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成26年8月6日(水)
- 2) 場 所 東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都港区)
- 3) テーマ 創立30周年を迎えた東京都下水道サービス(TGS)
～株式会社形態の第三セクター、その取組～
- 4) 参加者 48名

(3) 第37回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成27年2月27日(金)
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) テーマ 将来に向けた上下水道事業の在り方について
- 4) 参加者 12名

4. その他

- (1) 関連学協会の講演会等を協賛した。
- (2) IWA 団体会員の会費支払手続きを代行した。
- (3) 日本学術会議の下に設置された大震災の総合対応に関する学協会の連絡会に参画した。